

# 総合医療学部 心理学科 カリキュラム・マップ

## 養成する人材像

多様な心理学および関連領域を学び、現代社会における多彩なニーズに応え、地域社会や職場、家庭におけるさまざまな課題に心理学の観点からアプローチできる人材を養成する



## ディプロマポリシー

1. 社会人として、幅広い教養と自分や周囲の人たちの心の健康に関する心理学の基礎的な知識・技能を修得している。(総合医療学部DP1に対応)  
2. 社会人として、多様な人間関係を理解し、対応するための心理学の基礎的な知識・技能を修得している。(総合医療学部DP1に対応)

3. 実証科学としての心理学の観点に立ち、適切に情報を処理し、現代社会の諸問題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を修得している。(総合医療学部DP2に対応)

4. 変化する社会に対応し、周囲の人たちと協働しながら、生涯にわたり主体的に学び続ける態度を修得している。(総合医療学部DP3に対応)  
5. 多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとりながら協働する態度を身につけている。(総合医療学部DP4に対応)

4年	後期	卒業研究			心理実習		
	前期	卒業研究			心理実習		
3年	後期	広告と消費者行動 権利擁護を支える法制度	キャリアデザイン2 応用心理学演習 心理的アセスメント2	心理学発展研究演習 社会福祉調査の基礎	考えることの心理学 老年心理学	認知心理学の応用	キャリアデザイン総合演習 心理演習 ソーシャルワーク演習 社会保障2
	前期	キャリアデザイン1 神経・生理心理学 関係行政論 刑事司法と福祉	ウェブ実験デザイン演習 心理的アセスメント1 マーケティングと心理学	心理学調査概論	産業・組織心理学 精神疾患とその治療	芸術の心理学	心理学的支援法 社会保障1
2年	後期	司法・犯罪心理学 人体の構造と機能及び疾病	ビジネスデータ分析演習 教育・学校心理学 障害者福祉	心理学実験2	障害者・障害児心理学	視覚デザインの心理学	モチベーションの心理学 公認心理師の職責 コミュニケーション心理学 社会福祉の原理と政策2 地域福祉と包括的支援体制2
	前期	学習・言語心理学 組織の中の人間 -組織行動の心理学-	心理学統計法2 ビジネスと認知行動	心理学実験1 ソーシャルワークの 基盤と専門職	青年心理学 福祉心理学 健康・医療心理学	感情・人格心理学	社会・集団・家族心理学2 社会福祉の原理と政策1 地域福祉と包括的支援体制1
1年	後期	知覚・認知心理学 メディカルテクノロジー基礎	心理学統計法1 健康・スポーツ2	日本語B	発達心理学		臨床心理学概論 社会・集団・家族心理学1
	前期	心理学概論 スマートテクノロジー基礎	健康の科学 健康・スポーツ1	日本語A	心理学への招待	英語A 英語B	社会学と社会システム

## 初年次教育科目・一般教養科目(語学科目群・教養科目群・グローバル展開科目群・連携科目群)

知識

技能

思考力

判断力

表現力

態度(主体性・多様性・協働性)

## カリキュラム・ポリシー

1. 「大学での学び」への導入教育を行うとともに、幅広い教養を身につけるために、初年次教育科目、一般教養科目を設け、講義科目、演習科目を配置する(心理学科DP1に対応)。  
2. 多様な人間関係を理解し、対応するための心理学の基礎的な知識・技能を修得するために、専門教育科目の中に、キャリア教育分野を設け、講義科目、演習科目を体系的に配置する(心理学科DP1、2に対応)。  
3. 基礎的なアカデミックスキル、ならびに専門性の高い心理学の知識・技能を修得するために、専門教育科目の中に、ゼミ・卒業研究分野を設け、演習科目を体系的に配置する(心理学科DP1、2に対応)。  
※卒業後、公認心理師を目指す学生には、公認心理師法が定める「公認心理師になるために必要な科目」を配置する。

4. 心理学の研究法や科学的な見方・思考法を修得するために、専門教育科目の中に、研究法分野を設け、講義科目、演習科目を体系的に配置する(心理学科DP3に対応)。  
5. 実証科学としての心理学の観点に立ち、適切に情報を処理し、現代社会の諸問題を解決するための基礎的な思考力・判断力・表現力を修得するために、専門教育科目に、基礎心理学分野、教育・発達心理学分野、臨床心理学分野、社会・産業心理学分野、健康・医療分野、ならびに対人支援分野を設け、講義科目、演習科目を体系的に配置する(心理学科DP3に対応)。  
※卒業後、公認心理師を目指す学生には、公認心理師法が定める「公認心理師になるために必要な科目」を配置する。

6. 周囲の人たちと協働しながら、生涯にわたり主体的に学び続ける態度、他者と円滑なコミュニケーションをとりながら協働する態度を身につけるために、各分野の中に演習科目・実験科目を体系的に配置する。(心理学科DP4、5に対応)  
※卒業後、公認心理師を目指す学生には、公認心理師法が定める「公認心理師になるために必要な科目」を配置する。

## アドミッション・ポリシー

1. 高等学校段階までに身につけるべき基礎的・基本的な知識・技能を身につけている人(心理学科CP1に対応)  
2. 「国語」または「英語」を通して、聞く・話す・読む・書くことの基本的な能力を身につけている人(心理学科CP1に対応)

3. 社会の様々な問題に対して、知識・技能や情報をもとにして、筋道を立てて考える力、判断する力、表現する力を身につけている人(心理学科CP4、5に対応)

4. ものごとに対して主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む態度が身につけている人(心理学科CP6に対応)  
5. 公認心理師、または一般職業人の社会的使命や役割に関心を持ち、他者への思いやりと熱意をもって社会貢献しようとする意欲のある人(心理学科CP6に対応)  
6. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などの経験があり、他者とコミュニケーションをとりながら協力して課題をやり遂げることができる人(心理学科CP6に対応)